

「学校の灯を消すな！」 地域全体で学校教育を支え、青少年を育成する活動

徳島県美波町

活動名

伊座利校学校運営協議会

関係する学校

伊座利小学校・由岐中学校伊座利分校

活動区分	※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）							
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティスクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数
	平成 19 年 7 月 27 日					10 人	小6人中11人	小3学級中2学級

○「学校の灯を消すな！」徳島県南東部に位置する美波町。その中の最少集落「伊座利」にも、過疎高齢化の波は容赦なく押し寄せてきた。かつて陸の孤島と称された時代でも400人いた人口が、平成10年頃には、100人程度となり真に伊座利の持続の危機を迎えた。そこに、平成12年、伊座利の未来を拓（ひら）き永遠の持続を願って「伊座利の未来を考える推進協議会」は発足した。この協議会が学校運営協議会の母体となり、現在に至っている。

○本活動は、青少年の健全育成に努め、子供に未来を託して、学校と地域の存続を図ることを目指した活動である。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ①「おいでよ海の学校へ」：漁村留学や漁村に関心のある親子を対象に開催。磯遊びや、クルージング体験、カヌー体験、定置網体験、テナガエビ獲りなど海と周辺環境を最大限に活用して体験学習を提供する。漁村留学の疑似体験ともなっている。
- ②「ヒジキ刈りと日曜日」：ヒジキを収穫して製品化し、日曜日で販売する活動。磯のヒジキを刈り取り、ごみを取り除いて釜ゆでし、天日干し後、更にごみを取り除き、袋詰めにして製品化する。実際に製品を販売することで、生産から販売までを知る社会体験活動となっている。

【実施に当たっての工夫】

- ①「おいでよ海の学校へ」：毎年各地から200人余りの親子連れが訪れるため、伊座利地域の子供から高齢者までが、一人一役を担うこととしている。伊座利校児童、生徒、職員も中心メンバーとして参画することで、積極的に地域と学校をPRしている。
- ②「ヒジキ刈りと日曜日」：生産から販売までを体験する社会体験活動。県都徳島市で開催される日曜日での販売活動をもって終える。漁業が地場産業であることから、学校運営協議会が全行程を指導補助する。

事業を実施して

事業を実施したことで、漁村留学に結びついたかといえ、直接結果に結びついたケースは少ない。しかし、この活動には、全国津々浦々から参加者が訪れており、このことは地域の活動がただ単に地域内の活動で完結するのではなく、大きな広がりを見せていることを示している。また、リピーターとなる参加者も多く、このことから、地域の魅力を十分に発揮した活動となっていることを、うかがい知ることができる。このことが自信となり、地域も学校も活気を取り戻し、様々な活動へと広がりを見せている。稚魚・稚貝の放流、大敷網体験、磯学習、共楽運動会、エビ網体験、スキー交歓学習など、地域の協力を得て多彩な体験学習が実現している。

その他

「伊座利」は大人が面白い。だから子供も面白い。磯学習の学習発表会では大人が子供にやじを飛ばす。子供は動じることなく、言い返すパターンとスルーするパターンを使い分けて、しっかりと発表を終える。それを大人は満足そうに見ている。「伊座利校学校運営協議会」の源流とも言える「伊座利」ならではのエピソード。この「伊座利」での人々の営みと学校の灯よ、いつまでも、いつまでも。



おいでよ海の学校へ



ヒジキ刈りと日曜日